

平成元年（1989）4月 奈良県新公会堂開館

平成27年「奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～」に改称

平成元年、奈良県置県
100年記念として新公会
堂が建設された。

平成27年4月に、隣接
する「奈良公園シルクロ
ード交流館」を別館とし
て一体化してリニューア
ルオープンし、新公会堂
改め「奈良春日野国際フ
ォーラム 薨～I・RA・
KA～」に改称した。

日本最大級の屋根面積を
もつことから、ビッグル
ーフという愛称がある。



新公会堂と若草山

写真：久門與一氏

平成5年（1993）日本最初の世界文化遺産 法隆寺地域の仏教建造物群

世界文化遺産

7～8世紀にかけて造られた現存する世界最古の木造建造物群で日本最初の世界文化遺産。法隆寺地域の仏教建造物として、法隆寺の47建造物と法起寺の三重塔が平成5年に世界文化遺産に登録された。



淡雪の法起寺

写真撮影：昭和40年頃 秦 峰一氏



法隆寺世界遺産碑

写真撮影：平成19年 河本 勝氏

平成6年(1994) 奈良町都市景観形成地区指定

平成2年(1990)奈良市都市景観条例が制定され、

平成6年(1994)元興寺周辺を中心として「奈良町都市景観形成地区」に指定された。

近世から明治にかけて大和の商工業の中心として発展して建てられた町家が残っている。

元興寺の旧境内地を中心に市街化した町で、町家を改装して、どこか懐かしさを感じる町並みを散策に訪れる人が多い。



格子の家 中庭

平成17年(2005)11月

撮影 河本 勝氏

平成9年(1997) 第二阪奈道路開通

大阪府東大阪から奈良市を結ぶ国道163号のバイパスとして昭和61年着工、平成9年開通。有料道路。13.4km。西石切IC～壺分IC間の阪奈トンネルは約5.6kmで生駒山を貫通している。



祝貫通 第二阪奈有料道路阪奈トンネル
写真：生駒市 平成9年

平成11年(1999) 小瀬料金所付近

写真提供：生駒市オープンデータポータルサイト

平成10年(1998)2月4日 朱雀門復元

朱雀門は平城宮の正門。
平城京の入口の羅城門
まで、道幅約75mの朱
雀大路がまっすぐ続い
ていた。

平成6年平城宮跡朱雀
門立柱式が行われ、
平成10年奈良平城京展
にて 朱雀門・東院庭園
公開された。



写真は完成前年末（平成9年12月6日の朝日）

撮影：岡田庄三氏

平成10年(1998)12月2日 古都奈良の文化財 世界遺産登録

平成10年(1998)、8つの資産で構成される「古都奈良の文化財」が世界遺産に登録されました。

奈良県2つ目の世界遺産。

8つの資産全体が一つの文化遺産として登録されている。

◇建造物

東大寺・興福寺・春日大社

元興寺・薬師寺・唐招提寺

◇特別史跡・天然記念物

平城宮跡・春日山原始林

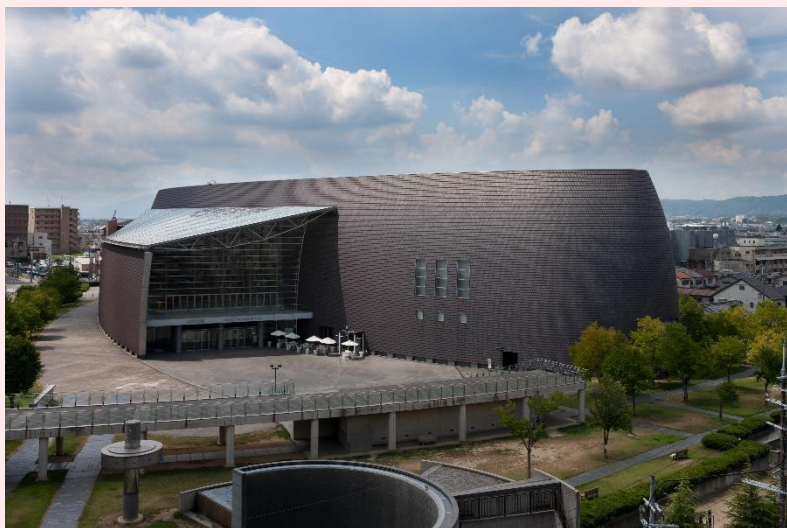


平成11年(1999) なら100年会館開館

なら100年会館は、奈良市制100周年を記念して建設された多目的ホールです。

設計者は磯崎新氏。

外壁と屋根を同時に施行した世界初の「パンタドーム構法」。電車のパンタグラフと同じ原理で、建物の骨格が上下二つに分割され、折り畳まれた状態で地上にて組み立てられた後、ジャッキで完成状態まで屋根を押し上げられた。



100年会館建設中 写真提供：100年会館



平成 15 年(2003)伯母谷ループ橋完成 大台・熊野尾鷲への難所解消

一般国道 169 号線伯母谷ループ橋が平成 15 年に完成した。ループ橋の工期は約 5 年。ループ橋の高さは 106m、橋脚 64m。平面線形が R160m の急曲線で、仮支柱を併用した片持ち張り出し架設工法で施工。カンチレバー工法。



工事中的写真
平成 13 年
撮影：木村守男氏



伯母谷ループ橋 下に見えるのが旧国道

写真提供：銭高組



8 月



9 月



10 月

平成16年（2004）奈良県3つ目の世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道

「吉野・大峯」「熊野三山」「高野山」の三つの各霊場の建造物と自然環境が一体になった景観が長年保存されていることが評価されて、日本初の「文化的景観」で奈良県3つ目の世界遺産となった。3つの霊場を結ぶ参詣道も道の遺産として登録された。

奈良県・三重県・和歌山県の紀伊山地にまたがる。

大峯奥駆道・熊野参詣道
(中辺路・大辺路・小辺路
伊勢路など)



世界遺産 熊野参詣道 小辺路

写真：令和2年 河本 勝氏

平成16年（2004）JR奈良駅旧駅舎曳家工事

近代化遺産

奈良駅は明治23年に開業しましたが、昭和9年に駅舎は改築され、屋根の上に相輪が取り付けられ、日本古建築様式の異色の仏寺風建築物となった。

JRの連続立体交差事業のため新駅舎が建設されましたが、旧駅舎の保存のため、曳家工法による移設が行われた。

その後、旧駅舎は奈良市総合観光案内所として利用されている。



JR奈良駅旧駅舎曳家工事

建物の下にレールを敷き、その上に丸いコロ棒を設置しジャッキで、移動しました。（北へ約18m移動）

写真：奈良市

平成 18 年 (2006) けいはんな線開通

生駒トンネルは大正 3 年 (1914) 開通 (写真右側) し、新生駒トンネルの開通により昭和 39 年 (1964) 使用を終えた。その後、昭和 61 年 (1986) 奈良線の旧トンネルの生駒側出口の一部を再利用する形でけいはんな線の生駒トンネルが開通した。(長田駅ー生駒駅間)

その後、平成 18 年 (2006) 学研奈良登美ヶ丘駅まで延長し開業。



写真は平成 28 年

「近鉄奈良線」(左) と 「けいはんな線」(右) の
生駒トンネル入口 車両はけいはんな線

平成 20 年 (2008) 6 月 28 日 ~ 29 日

奈良大宮跨線橋 一晩で道路と鉄道の上下入換工事

JR 奈良駅付近連続立体交差事業で JR 線路を高架上に切替工事のため大宮跨線橋撤去と合わせて一晩で工事完了した。

大宮跨線橋全景
(工事前)

写真：JR 西日本



大宮跨線橋取り外しと JR 線開通

前日
6 月 28 日

JR 線は地上を走り跨線橋上を自動車走る。



翌朝
6 月 29 日
大宮跨線橋の一部を撤去後、
JR 線は架線工事し高架を走る。
自動車は地上を走る。



平成 22 年（2010）JR 連続立体交差完成

JR 奈良駅周辺は、かつて関西本線・桜井線が地上を走っていた。

「JR 奈良駅付近連続立体交差事業」は、JR 奈良駅を中心として、関西本線は佐保川南踏切道付近から大安寺踏切道付近まで 2180m。桜井線は JR 奈良駅から西木辻町付近までの 1310m を連続立体交差化（高架化）するプロジェクト。

平成 14 年（2002）から連続立体交差工事が進められ、平成 22 年（2010）高架完成した。



平成 19 年（2007） 高架工事中新奈良駅舎 中央左側は旧駅・右は仮駅舎

写真：西田博嘉氏

平成 22 年 (2010) なら国際映画祭 2010 開幕

奈良の平城遷都 1300 年目となる 2010 年、映画作家の河瀬直美をエグゼクティブディレクターに迎え始まった「なら国際映画祭」。2 年に 1 回開催される映画祭の企画運営の他、国内外の若手監督と奈良を舞台とした映画制作や、こども・海外学生とのワークショップ、など映画の魅力を伝える数々のプロジェクトを実施しています。



写真は平成 28 年 9 月
なら国際映画祭開会式

平成 22 年 (2010)

平城遷都 1300 年記念行事・大極殿復元

平成 22 年 (2010) は奈良遷都 (710 年) より 1300 年にあたり記念して復元された大極殿の前で記念行事が開催された。



平成 22 年 平城遷都 1300 年記念



平成 21 年 (2009) 8 月 第一次大極殿大極殿建設中

写真撮影：岡田庄三氏

平成 23 年(2011 年) なら奈良まつり開催

市民が参加できる新しい夏の行事として平成 23 年から始まった。平城宮跡朱雀門ひろばで盆踊り・花火・ダンス・演奏・出店などが行われる地元のお祭り。

次代の担い手である子供たちが将来にわたり奈良を愛する心を持つことを目指し、奈良商工会議所青年部が主催する。



平成 23 年 なら奈良まつり 初回風景

写真提供：奈良商工会議所青年部

平成 28 年 (2016) 1 月 奈良大立山まつり開始

奈良県では観光客が最も少なくなる冬季の宿泊観光客の増加を図るため、平成 28 年 1 月より実施。

平城宮跡で高さ約 7m の巨大な山車「大立山」が 4 基そろい、無病息災を祈願する。

四天王を象（かたど）った大きな立山の点灯や、県内の温かいご当地グルメの販売、伝統行事の披露がある。

奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり

古代から令和の時代に至るまで、長い歳月をかけて歴史や文化を育んできた“奈良”の地・時代を超えた魅力をみんなで楽しみそして味わう。



平成 30 年 (2018) 1 月 奈良大立山まつり

令和2年（2020）奈良県コンベンションセンター開業

2020年4月奈良市役所前に開業。

国際会議が開催できる施設を有し、観光に来ていただいた人に奈良の魅力を存分に楽しんでもらう「まち」、県民の皆さんに楽しく交流してもらえる賑わいの「まち」として奈良県が目指す「賑わう都」の拠点となるものです。

2000人収容の「コンベンションセンター」、天平広場、天平ホール、書店、ホテル、NHKなどと一体的に整備されている。

2020年12月ウッドデザイン賞で優秀賞（林野庁長官賞）受賞しました。



「天平広場」大きな屋根がついた屋外広場
奈良県産材の木材を活用した格子梁で天平文化を表現